

## 令和6年度三田市高校生議会の開催について

市内にある高校の生徒たちが議員となり市議会議場に集まり、高校生議長による進行の下、日常生活の中で感じた疑問や課題について、市に質問・提案を行います。

平成27年の法改正により選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられてから始まり、今年度で10回目を迎えます。選挙投票率が特に低くなる若い世代が政治に関心を持ち続ける施策が必要です。選挙がより身近になった高校生が、政治や選挙への関心や地域への愛着を育み、三田のまちをつくる当事者としてどんな活動をし、どういった役割を持つことが出来るかを主体的に考え、行動するきっかけとなることを目指して、三田市高校生議会を開催します。

### 1 高校生議会の概要

#### (1) 日時

令和7年1月26日（日）13時～16時30分（予定）

#### (2) 会場

三田市議会議場（三田市役所本庁舎6階）

#### (3) 参加者

市内9高等学校から生徒20人（高校生議員18人、高校生議長2人）

#### (4) 議場出席者

市長、副市長、教育長、危機管理監、総合政策部長、市民生活部長、産業振興部長、子ども・未来部長、健康福祉部長、都市整備部長、学校教育部長

※市議会からは、議長、副議長にご出席いただきます。

※議場出席者以外の部長等及び職員については委員会室のモニターで視聴できます。

#### (5) 傍聴・視聴

当日受付（事前申し込み必要なし）

※会場での傍聴の他、当日は各市民センターで中継放送します。

また、市公式YouTubeで2月以降にオンデマンド配信予定です。

#### (6) その他

当日の朝7時時点で、市内に警報が発表されている場合は中止します。

### 2 高校生議員の質問一覧表

別紙「令和6年度三田市高校生議会 議員・質問一覧表」をご参照ください。

## 参考資料

### 1 議事運営等

- ① 高校生議長が議事進行を行います。
- ② 質問は、1人ずつ行います。
- ③ 持ち時間（市からの答弁を含む。）は、1人あたり概ね9分とします。再質問（市からの再度の答弁を含む。）は持ち時間内で可能とします。  
質問→答弁→再質問→再答弁（9分経過：終了）
- ④ 市議会本会議における一般質問に準じて実施し、質問に対する答弁は、市長、副市長、教育長ほか関係部長等が行います。
- ⑤ 当日の様子は、各市民センター等に中継する予定です。
- ⑥ ひまわり特別支援学校の高校生議員は、体調により途中退室される可能性があります。
- ⑦ 当日の様子は、市公式YouTubeで2月以降にオンデマンド配信する予定です。
- ⑧ 質問を円滑に、よりわかりやすく説明するために、写真や表、パワーポイントなどを補足資料として活用することを可とします。  
※補足資料がある場合は、傍聴者には紙資料を配布します。

### 2 その他

高校生議会開催にあたり2回のワークショップ（10月6日、10月27日）を開催し、それぞれの質問テーマについて高校生議員どうしでの意見交換を行ってきました。

特に第1回目のワークショップについては、昨年度の高校生議会での「高校生が意見交換のできる場の創出」という提案を受け、議員以外の高校生にも参加を呼びかけ開催しました。

### <これまでの開催実績（中学生議会も含む）>

年度	対象・開催手法	参加者	備考
H26	中学生対象 三田っ子議会	24人（市立中学校8校） ※新庁舎建設に伴い、旧庁舎が取り壊しになるため、記念事業として開催。	班ごとに提案
H27	高校生対象 三田市高校生議会	23人（市内公立4校・私立2校・通信制1校）	1人ずつ提案（提案＋答弁で5分）
H28	同上	18人（市内公立4校・私立2校）	
H29	同上	20人（市内公立4校・私立2校）	
H30	同上	20人（市内公立4校・私立2校）	
R1	同上	22人（市内公立4校・特別支援学校1校・私立2校）	
R2	オンライン開催（コロナ対策）	12人（市内公立4校・特別支援学校1校・私立1校）	補足資料の活用 YouTube ライブ配信
R3	ハイブリッド開催（コロナ対策）	14人（市内公立4校・特別支援学校1校・私立1校・通信制1校）	補足資料の活用 YouTube 後日配信
R4	高校生対象 三田市高校生議会 ※3年ぶり議場開催	18人（市内公立4校・特別支援学校1校・私立2校・通信制1校）	補足資料の活用 YouTube 後日配信
R5	高校生対象 三田市高校生議会	13人（市内公立4校・特別支援学校1校・私立1校・通信制1校）	補足資料の活用 YouTube 後日配信

## 令和6年度高校生議会 議員・質問一覧表

質問順	学校名	学年	名前	質問テーマ	質問概要
1	三田市立 ひまわり特別支援学校	1	かわさき ゆうだい 川崎 悠大	人と人がふれあえる社会に	誰もが安心して音楽や食事、イベント、旅行ができる、そんな「人と人がふれあえる社会に」になってほしい。
2	兵庫県立 有馬高等学校定時制課程	2	たけうち そら 竹内 昊	三田市の明るい街づくりについて	登下校時に通る道が暗い。安心・安全な三田市で暮らし続けようと思える街になってほしい。
3	兵庫県立 有馬高等学校	2	みたに めい 三谷 芽衣	三田市の防災意識向上について	地域コミュニティの輪を広げ、防災意識が向上することを目指して、月1回の防災デーを提案する。
4	兵庫県立 三田西陵高等学校	2	やまもと りゅうせい 山本 琉惺	給食の力で人口を増やそう	三田市の給食は市外からの評判もいいと聞いた。三田市の給食の良さを知ってもらいたい。
5	クラーク記念国際高等学校 三田キャンパス	2	さいとう たかし 齋藤 貴	三田を知るきっかけ	バスの周遊券を発行し三田の名所を巡るイベントを開催できないか。
6	兵庫県立 三田西陵高等学校	1	たたら はくえい 多田羅 白瑛	若年層へのSNSによる魅力発信について	インフルエンサーに協力を求め、ショート動画などにより三田の魅力を発信できないか。
7	三田学園高等学校	1	つらた まさき 鶴田 匡樹	待ち時間の有効活用法	三田駅周辺に自習スペースや交流スペースを作ることで、電車の待ち時間を有効活用したい。
8	三田松聖高等学校	2	こばやし ゆうた 小林 優太	通学定期代の補助による教育費へのサポートについて	通学定期代を補助し子育て世代の経済的負担を軽減することで、新たな学びにつなげられないか。
9	兵庫県立 三田祥雲館高等学校	2	いずみ あさひ 出水 朝陽	「高齢者の移動支援サービス」について	高齢者の免許返納が進む中、今後の移動支援のため、福祉融合型タクシーの運行を提案する。
10	三田学園高等学校	1	えがわ こはる 江川 心悠	空き家を活用した教育施設について	空き家を活用して、勉強を通じて交流できるスペースを作ることを提案する。
11	三田松聖高等学校	2	むらにし こうたろう 村西 孝太郎	高齢者の自由な移動によるまちの魅力向上について	コミュニティバス等の交通手段を増やすことで、高齢者の孤立を防ぐことができないか。
12	兵庫県立 有馬高等学校定時制課程	2	なで そうた 名手 奏太	三田市の農業活性化について	若者を中心とした農業体験、農業留学など農業活性化イベントを開催することを提案する。
13	クラーク記念国際高等学校 三田キャンパス	2	さいとう えいく 齋藤 詠空	不登校も含むすべての子どもがつながる場所をつくることについて	自分の価値を見出せる「秘密基地」のような居場所を自然を活かしてつくりたい。
14	兵庫県立 有馬高等学校	2	こばた あおい 小畑 葵衣	木漏れ日であふれる里山保全を目指して	里山管理を体験するツアーや授業を行い、里山の楽しさを知ってもらうことで自然保護を進めたい。
15	兵庫県立 北摂三田高等学校	2	さいとう あやね 齋藤 彩寧	皆が安心して移動できる街	自転車等による事故を防ぐため、事故の多い場所や交通安全教室の内容を知らせるサイトやSNSの発足を提案したい。
16	兵庫県立 三田西陵高等学校	2	やまさこ こうき 山迫 幸輝	男女での役割を固定しないために社会ができること	性に基づく固定概念を無くすため、幼少期からの男女共同参画に関する教育の充実を提案する。
17	兵庫県立 三田祥雲館高等学校	2	たにがわ こはる 谷川 心陽	三田市における保護猫活動について	保護猫活動についての啓発や捕獲器の増備、活動に対する補助などを提案したい。
18	兵庫県立 上野ヶ原特別支援学校	2	やまぐち まさたか 山口 真尚	三田市民がたくさん笑って幸せになってほしい	笑いを広める第一歩として三田まつりでお笑いイベントを行うことについて提案したい。

【参考】これまでの高校生議会の提案に対する取り組み状況

質問年度	質問概要	答弁内容	取組結果
H28	「カーブミラーの曇り止め対策」		曇り止め効果のあるミラーに交換した。
R1	「JR新三田駅のゴミのポイ捨て禁止啓発」 ①ポイ捨て防止のためには啓発看板を設置すべき。 ②ゴミ箱が無いからポイ捨てをする。そのためにはゴミ箱を設置すべき。	①目につきやすい場所にポイ捨て禁止の看板を設置する。 ②ゴミの持ち帰りを促すため、ゴミ箱は設置しないが、マナー向上の啓発看板を設置する。	①目の付きやすい所の3箇所ポイ捨て禁止看板を設置した。 ②ゴミの持ち帰り啓発看板を3箇所設置した。
R1	「カーブミラーの増設」 カーブ進入時に減速や目視だけではすべての事故は防げないので何か対策はあるか。	カーブミラーの設置にはかなり経費がかかる。比較的低コストな啓発看板の設置を検討する。	啓発看板(電柱巻き看板)を設置し、注意喚起を図った。
R2	「若者の投票率アップの取り組み」 「さんだ未来トーク」の若者バージョンとして、コロナ禍でも実施できるようオンラインを活用し、市議と三田について語り合う場を設けてはどうか。	オンライン開催について、市議会に提案していく。	「さんだ未来トーク」をオンラインで実施できるようにした。
R2	「自転車の交通ルールの周知啓発」 自転車を安全に楽しく利用するために、①効果的な講習会の実施、②自転車の正しい利用の看板、③おすすめコースの看板を設置をどうするか。	①現在も交通安全教室や街頭啓発は実施しており、特に昨年度はスタントマンによる交通安全教室を実施した。 ②自転車の正しい利用の看板は視認性の課題がある。 ③サイクリングコースの看板については検討している。	③サイクリングコースの看板は今後進めていく。
R2	「キッピーファミリーの知名度アップ」 ①キャラクターの改良 ②幼稚園行事等への参加	①リニューアルはしない。 ②コロナでできていないが、デザイン活用や貸し出し方法について周知する。	②インターネットでの利用申請ができるようにした。
R3	「将来の夢の実現について」 色々な場所に行き人と出会いたくさんの経験をしたい。 外食をしておいしいものを食べたい。(嚙下が難しい人でも外食できるようにきざみ食やペースト食に調理してくれる店が増えてほしい)	共生社会の実現が必要。必要な社会資源を確保し、適切な支援を提供できるよう関係各所と連携し、安心して暮らせるまちづくりを目指す。障害がある方への合理的配慮が民間事業者にも義務づけられた。理解促進に向けて周知啓発を行う。	三田キッピー食堂で液状にするなど二次調理されたメニューを堪能した。 (市民団体の協力による)
R3	「パートナーシップ宣誓制度について」 子どもを含む家族の関係を証明する「ファミリーシップ制度」など、宣誓者の権利拡大を目指す条例の制定を提案する。	ファミリーシップ制度については、阪神間の7市1町の連絡会などを通じて他市と情報交換しながら、望ましい制度設計に向けて研究していく。条例の制定については、当面は現行制度の検証を行いながら、より当事者の利便性が向上するよう規定の拡充、見直しなどを進める。	令和5年7月1日からパートナーシップ宣誓制度を拡充し、その範囲を親と子にまで拡大したファミリーシップ宣誓制度を導入する。
R3	「青少年のネットトラブル」 インターネットトラブルから幼い子どもを守るために学校だけでなく三田市全体として教育活動を行っていく必要がある。	市や学校、各種団体等が連携・協力しながら、それぞれの役割や専門性を踏まえた周知・啓発に取り組む。より多くの方に関心を持って参加してもらえるように啓発や講座の内容には、分かりやすく具体的な事例を取り上げ、インターネット上のトラブルや危険性を身近な問題として感じてもらえるよう工夫する。子ども達の安全・安心のもと、三田市全体で情報化社会に適応した子どもたちを育てていく。	令和4年度、青少年問題協議会の議題として「ネットトラブルから子どもを守る」取組みの強化について協議。 令和4年2月に学校・警察・指導員の連絡会において講演会を実施。
R4	「三田市のSDGsの取り組みについて」 三田市がSDGsの達成に向けた取り組みを提案する「SDGs未来都市」に選出されるような市になってほしい。	魅力あふれる「SDGs未来都市」へ選出されるような賑わいと活力のあるまちを目指していく。	令和5年5月22日付SDGs未来都市に選定。
R5	「高校生は三田市民病院統合に興味や関心を持っているの？」 三田市民病院統合をはじめとする様々な市政について高校生の視点で考え話す機会「高校生意見交換会」を行い、例えば市議会定例会などで発表することにより、市政に興味関心を持つ高校生が増え、「市政が良くなるよう意見を出す」「投票率アップ」につながる。	現行法においては、市議会議員以外の市議会定例会への出席及び発言はできないことから、学校の終礼や授業の一部を利用してまちづくりについて検討いただき、その意見を踏まえて、高校生議会を開催する方法が考えられる。今後も関係機関と協議しながら、市内の高校生が積極的にまちづくりに関心を持ち、参加意欲を高めるような取り組みを研究、推進していきたい。	令和6年10月6日高校生議会第1回目ワークショップにて、議員以外の高校生も対象とし、高校生同士の意見交換の機会を設けた。